

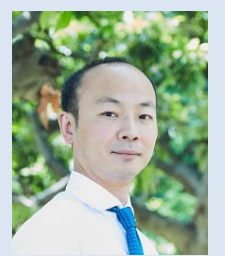
雪ヶ谷化学工業株式会社 ~「B to B to The Future」のビジョンの元、サステナブル経営に成功、世界へ飛躍する企業へ~

企業概要

- 1951年創業以来、一貫して特殊発泡体の専門メーカーとして着実な事業を行う。1960年代より化粧品用スポンジの材料を天然ゴムから合成ゴムに置き換える事に成功、品質向上に繋がり世界のトップシェア企業として認知されるに至る。
- 化粧品用市場で培ったノウハウを応用し、自動車部品・建材・音響機器等への参入に成功。ワールドワイドな成長を続けている。
- 2019年よりSDGsを社のビジネスモデルと同期させ、雪ヶ谷サステナブルチャレンジ2030を構築。経済性と社会性の両立を目指す先進企業としてメディア露出も増加している。

URL: <https://yukilon.co.jp/>

企業情報			
企業名	雪ヶ谷化学工業株式会社		
代表者	代表取締役社長 坂本 昇		
設立年	1951年	従業員	76人
資本金	1,000万円		
業種	ゴム製品製造業		
本社所在地	東京都品川区東大井5-12-10		
事業概要	特殊発泡体の製造及び販売 化粧品用具の製造及び販売		
電話番号	03-6718-4401		



雪ヶ谷化学工業株式会社
坂本代表取締役社長

SDGs達成を通じた取組



【経緯・背景等】

■ 天然ゴムを用いた産業用素材メーカーとして創業。天然ゴム由来の製品における品質の課題から石油由来の合成ゴムを開発、ユーザビリティに則した商品を展開したことより世界的トップシェア企業として成功を収める。しかしながら昨今の脱石油等の社会的ニーズの高まりから、次なる変革への課題を感じていたところ、2019年SDGsの概念に共感、自社事業を同期させることで新たな製品開発・社内でのSDGs活動が加速的に進むに至る。



同社のサステナブルスポンジシリーズ

【具体的な取組、製品・サービス】

- サステナブルスポンジシリーズの開発に成功。天然ゴム製品からアレルギー物質を取り除く革新的な技術を開発。さらに合成ゴムに混合することにより石油由来原料を10~90%の削減出来る素材として社会的な評価を得る。SDGsに関わる課題として素材の観点から環境保全へ繋げ、素材である天然ゴムの取引を行う環境に強制労働等に紐づかないかどうかの現地調査を行い、適切な労働環境構築に寄与。さらにはフェアトレードの天然ゴム識別マーク作成や国内のフェアトレード品推進への取組を行っている。
- 社員が主体となり進めるSDGsに関する勉強会・ワークショップを実施。このワークショップの中で生まれたビジョンが「B to B to The Future ~今からできることを、これからのために一歩ずつ」である。このビジョンに基づき、「雪ヶ谷サステナブルチャレンジ2030」を策定。具体的な共通KPIを設定し、各部から選出された若手社員のプロジェクトチームが中心となり定期的な会議を開催。バックカスティングによる社内プロジェクトメイキングを行っている。



SDGsプロジェクト会議の様子

【取り組んだ成果・効果】

- 企業の姿勢そのものが企業価値向上に繋がり、顧客への商品訴求力が進む、また大手企業とのビジネス機会の広がりに繋げている。
- 目標として掲げる国内天然ゴム市場の100%フェアトレード化に向け行ったルールメイキングによる市場形成の取組である「フェアトレード天然ゴムマークの作成、普及」に関し、すでに化粧品業界の取引先企業で使用され、使用予定企業が増加中。今後は取引先を超えたゴム業界への展開を目指す。
- 社員の意識・行動も変容。社員発案によるSDGsに基づいた新商品開発も進む。中小企業にSDGsを広めるべく積極的に情報発信を行っている結果としてメディア露出も増え、外部からの注目が社員のモチベーションをさらに高める好循環を生んでいる。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- SDGsによって獲得しうるものは社会の共有価値であり、企業にとっては収益の機会につながる重要な経営課題である。営利企業の活動を通じて社会や環境をよくするヒントに溢れているSDGsにより、「(社員や取引先を含めた)すべての人が健康で幸せに、暮らしを楽しみ続けられるモノづくり」企業として持続的成長を加速させていきたい。